

平成29年度

会館だより 第4号

私の就活

岩手県学生会館

平成29年10月11日発行

ようこそ 先輩の皆様 山形純菜アナウンサー

寮生交流会開催

9月23日(土)恒例のOB・OG交流会が開催されました。今年は夏休み明け元気回復会と兼ねての企画でしたが、今を時めく岩手の星、TBSアナウンサー山形純菜さんの講演会も同時に開催することができました。

当日は寮生20数名、卒寮生等10名、役員、職員等8名など、合計40名もの参加を得て賑やかな、アットホームな雰囲気で一夜を過ごしました。



最初に山形さんの講演が行われましたが、その中で山形さんはご自身の体験をもとにチャレンジすることの大切さを訴えました。高校時代のこと、大学時代にミスインターナショナル日本代表に選ばれたこと、そしてTBSアナウンサーになったこと、どれもがご自身の挑戦する気持ちを支えになって実現できたことだと話され、寮生の奮起を促して

いました。

その後、卒寮生を中心としたグループを作り、それぞれで交流を深めました。山形さんも盛岡三高の同窓生と一緒に最後まで輪の中に入り、楽しんでいただけたようです。

なお、この様子は地元岩手日報の24日付けの朝刊で紹介されました。



私の就職活動

今年ももう十月、寮生活最後の年を迎えた大学4年生、専門学校2年生の就職活動も一山超えたようです。それぞれの思いが交差した一時期だったようです。思いが遂げられた方もそうでなかった人もいるようですが、後輩のためにと一肌脱いでくれました。是非参考にして来る活動に備えてください。

なお、今年度も会館では就職説明会を開催する予定です。参加企業は岩手銀行、岩手県庁、岩手日報、岩手県信用保証協会様を予定しております。3年生だけでなく、1, 2年生の参加も推奨いたします。



一昨年度の企業等説明会

合格体験記

朴澤 和希

この度、私が受験してきた公務員試験がすべて終了しましたので、熾烈を極めた就職活動を乗り越えた経験をこれから公務員試験を受験する、あるいは公務員試験の受験を考えている方々へ、私がこれまでに経験してきたことを伝え、少しでも役に立つことを願ってこの文章を書かせていただきます。

公務員試験のスタートは就活解禁日によつて毎年異なりますが、今年も四月下旬から試験が毎週のようにやってきました。そのため、私も含めて多くの学生は三年次、早人は二年次から勉強を始めています。

私は三年次から本格的に公務員試験の受験のための勉強を開始。大学での講座や予備校の授業はしつくりこず、ほとんど独学でやりました。サークルでは責任ある仕事を任せられたり、大学の講義やアルバイトなどまとまった時間を平日に確保するのが困難であったため、合間合間で参考書を開いて問題を解くを繰り返し、土日は四、五時間苦手な科目に費やしていきました。私は苦手科目からとことん見離されていたため、模擬試験の点数の偏り方は常軌を逸していました。それでも、ボーダーラインは超える程度には出来

上がってきました。ここまで六、七か月程度です。年をまたぐあたりには二次試験対策として論文を書いていきました。論文は何度か添削を受けてもらいましたが、全く知らないテーマが出題されると手が出ないため、とりあえず頻出のテーマを書けるようにしていきました。この間、同時並行で官公庁が主催する説明会に足を運び、自分がやってみたい仕事を探していきました。

四年次、周りがリクルートスーツに身を包み就活がどんどん進んでいく中で、依然として勉強しているのはおいてけぼりをくらっているようでした。私にとつては四月末から公務員試験の一次試験が順次スタートしていきました。試験が終わっては解答速報を待ち、自己採点をして一喜一憂をして、次の試験の対策を講じるを二か月繰り返していきました。早い試験は一次試験の可否が発表されました。次は二次試験、三次試験の面接対策。試験が進むごとに、合格が続いていくことに忙しさに拍車がかかっていきました。面接カードに何を書けばいいのか考えて、添削を受けて即日速達で提出、そのあとは面接練習、残ってる試験の対策などなどやるべきことが多く、試験通過の喜びは受験番号を発見したその時の一瞬だけでした。私は東京と東北

両方試験を受けていたため、試験がかぶっていたり、東京で面接うけた翌日仙台で説明会に行ったりは当たり前であり、移動が大変でした。この時期の交通費は軽く十万を超えました。他地域も受験する人にとっては当然らしいです。もし試験がすべて不合格になっていたら、このような金額を補填してくれた両親には面目ないなと思っていましたが、そのような心配は杞憂に終わり、いくつかの試験で最終合格を果たしました。今後は、残り半年もない大学生活を満喫しつつ、お金を貯めて社会人に備えていこうかなと思っていきます。

公務員の内定を受ける時期は早い人で七月、遅くて十月以降になり、民間と比べると就活期間が長かったり、必ずしも内定をもらえるわけでもありませんし、勉強もみっちりやらなければなりません。その点で公務員を敬遠してしまう人もいるかもしれませんが、今後四半世紀以上働くことになる職場を決める上で大事なターニングポイントになりますので、悔いのない決断をしてほしいと思います。

最後に、私は四年間この学生会館で過ごすことになりましたが、公務員試験を受ける上ではここで暮らすことは毎食作る手間もなく、

勉強に集中でき、いい結果を出せたと思っています。館長さんをはじめとして学生会館に携わっている方々にはとても感謝しています。ありがとうございました。

「就職活動を終えて」

岩崎 朱里

就職活動を振り返って、これから臨まれる皆さんに就職活動において大切だと思うことを三点お伝えしたいと思います。

一つ目は、チームの一員として頑張ったという体験が重要視されるということ。必ずしも留学や学生団体での活動など、特別な体験である必要はありません。アルバイトやサークル活動でも十分です。重要なのは、チームの中でどのような役割を果たし、全体にどう貢献できたのかということ。特に、課題を見つけて解決に向けてどうアプローチしていったのか、周囲を巻き込むような行動を取ることができたのが問われます。これは意識をしないとなかなかできないので、どんなことでも迷ったらやってみよう！という心掛けが大事だと思います。

二つ目は、自己分析をしっかり行うことです。就職活動では、業界全体や個々の会社についてなど、調べなくてはならないことは多々ありますが、肝心なのは、自己分析です。自分を一言で表すと、どのような人なのかをある程度知っておく必要があります。就活サイトや書籍を利用するだけでなく、親や友人にも分析してもらいます。今までの人生で感動した出来事や、これからも大切にしていきたいことなど、あらゆる方面から分析してみてください。自分と向き合うことは苦しいと思いますが、どんな人にも長所、短所がありますし、短所の裏返しは長所であったりもします。自分と相手について正しく知ったうえで選考に臨んで頂きたいです。就職活動では、会社の雰囲気や、求められる人物像に合致しているのが大切なので、自己分析は繰り返し行うことが良いと思います。

三つ目は、自分の足で情報を集めることです。企業採用活動は年々早まっています。三年生になると同時に、多くの説明会やインターンシップに応募してみてください。インターネットの情報ばかりに頼るのではなく説明会などに積極的に参加することで、社内の雰囲気を知り、顔を覚えてもらうことができます。早くから参加していた人限定の選考もあるので、早めに動くことが大事です。以上の三つが就職活動で大切なポイントです。就職活動は十人十色なので、人と比べ

ることはありません。早く決まること、沢山の内定をもらうことではなく、自分にぴったりの会社に出会うことが一番だと思います。

就職活動記

菊池 俊一郎

僕は、この度杉並区にある造園設計事務所に内定を頂きました。今回は就職活動の体験記を書く機会を頂きましたので、就活において苦労したことなどを記そうと思います。

まず、大学卒業後の進路には主に進学と就職がありますが、僕は院試一か月前の7月まで、どちらに進むべきか悩んでいました。考えた末就職することに決めましたが、方針が決まらないと本腰を入れて取り組むことが難しくなるので、自分の専攻や研究をよく確認し、家族や教授などと日頃から相談していくことが重要だと思えます。

さて、本題の就活の話に入りますが、3年次が終わるまでは実際のところそもそも就活はいつ始めれば良いのか、何をすれば良いのかも分かりませんでした。大学ではインターンの説明会や就活セミナー等が行われているのですが、面倒がってほとんど参加せず、結局本格的に就活を始めたのは4年次開始間近、就活が解禁された3月からでした。

まず、大学の友達がやっているという理由でマイナビやリクナビといったサービスに慌てて登録し、興味の企業にエントリーを申し込むのですが、僕は造園という比較的マイナーな業種で、中小企業を目指していたため、このような大手のサービスではあまり合致する企業が見つかりませんでした。そこで活用するべきなのは大学独自のサービスや、就職支援課です。先輩方のデータやノウハウがあり、非常に便利で助かりました。

実際のところ就活で一番大切なことは、自分の入りたいと思う業界・業種や企業についてしっかりと研究し、調べておくことだと思います。面接や試験の対策は、いくらネットに書いてあることを実践しようとはあまり関係ありません。自分のやりたいこと、やってきたことは何だったのか、これをしっかり確認して就活に臨めば、間違いなく成功させることができます。と思います。

就職活動報告

日本外国語専門学校

齋藤 怜那

私は、今年の2月から約4カ月間、就職活動をし、5月31日に終了致しました。約4カ月の就職活動では、合計10社を受け、

2社から内定を頂きました。就職先は、パレスホテル東京という東京駅の近くの5つ星ホテルです。

私は当初、客室乗務員を目指し、上京してきました。しかし、勉強していく中で、サービスにおける方向性の違いから、段々とホテリアを目指すようになりました。

この4カ月の就職活動で感じたことは、TOEICの大切さです。今の日本の企業は、語学力を必要としています。幸い、私は1年の前期から後期までの1年間で150点伸ばすことが出来、それも評価対象にされました。私は専門学生のため、2年しか時間はありませんが、大学生の方は4年間あります。その間で少しでも語学力を磨き、納得のいく就職活動ができるよう願っております。

最後に、就職活動中、やはりつらいことが多く、いつも愚痴をこぼしていました。が、それに付き合ってくださいました寮の皆さん、いつも美味しい食事を提供してくれる食堂の方々、静かに見守ってくれる事務の方、寮母さん、館長さん。皆様に支えられて無事に就職することができました。本当にありがとうございました。

就活体験記

小守 潤

私は、来年春から総務省自治分野という所で働く事に決まりました。元来岩手の為になにか出来ないかと考えていたのですが、色々な地域を渡り歩き、現場を重視しながら制度で地方を支えるという総務省の仕事が肌に合っているように感じ志望しました。こう書くとも容易く決まったように感じますが、その過程では悩みに悩みました。当初から利益追求だけでは現代の課題は克服できないのではと考え、漠然と公務員を志望していません。しかし、民間、公務員問わず、分野の分け隔てなく多くの説明会に参加する中で、今まで自分が知らなかった世界の広さに驚かされると共に、社会のメカニズムを学ぶ事が出来ました。そして改めて全てを総合的に考慮した時、自分の関心と一致していて職員の雰囲気が良い総務省に一番惹かれ志望しました。結果として当初の志望とはあまり変わらなかったのですが、色々な会社を見たことで勉強になった上、志望する気持ちが強まったので無駄だったとは思いません。就活で得たものを活かしながら総務省で働きたいと思えます。

匿名希望

就活において、私は以下の二点が重要だと感じた。

① 自分が大企業に向いているか、中小企業に向いているか考えること

就活中、深く考えず、とりあえず大企業を目指す学生に何度も出会った。周りのそういう人たちで、そのまま大企業に受かった人間を見たことがない。そもそも、大企業と中小企業ではできる仕事の幅や求められる能力も異なる。学生の持つ素質もばらばらで、個を潰して集団で頑張れるものもあれば、独自性を重視するものもある。そうした企業で求められる能力と学生の素質に食い違いがあれば、当然受かるはずはない。そのため、自分の素質を考えたいうえで、大企業に向いているかそれとも中小企業に向いているかをよく考え、採用試験に臨んだほうがいいと思う。

② 個性を重視すること

先ほど、個を潰して集団で頑張る人がいる、と書いたが、それはあくまで入社後の話。たとえそういう人間だとしても、就活ではいかに自分の個性をアピールできるかが重要になる。それは、テニス

サークルで幹事長をやっていた、などというものではない(そもそも、学生団体の長をやっていた人間なんていくらでもいる)。学生のときに自分がどういう能力を活かしたか、手に入れたかのほうが重要になる。または、自分が他の人と比べてどれほど特殊な活動をしてきたかが重視される。企業側にはたくさん人間がいる。たとえ個を潰して働くにしても、企業にいる全員が同じような人間であれば、それはロボット労働者ではない(そうした人間を望む会社もあるが)。企業側も新たな企画などを出せる個性を持った人間がほしいので、そうした個性を面接やESで重視したほうがいいと思う。



会館からの連絡

〇ランドリーの使用について

皆さんで大切に使用していただいている洗濯機等についてお願いがあります。

1 洗濯物を入れすぎないことー使用料はかかりませんで、多いときは2回に分けて洗ってください。傷等、破損の原因になっているようです。

2 洗剤等は直接入れることー液体のものなどを投入口から入れても粘度の違いにより流れないこともあります。どうぞ直接入れてください。(もの申す箱に投書がありました)

3 使用後は速やかに取り出すことー前よりは改善してきているように見えますが、まだ放置している人がいます。自分のことだけを考えているのではないかと思われます。少し成長してもらいたいものです。

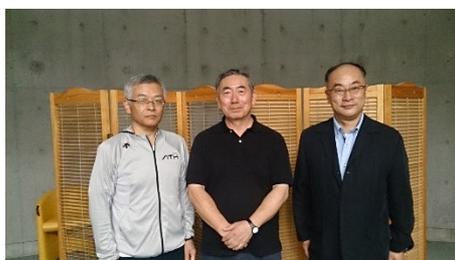
4 窓の開閉に気を付けることー大雨の日なんかには急いで窓を閉めに走りますが、気が付いたら皆さんもご協力ください。晴れているときは開放することも忘れずに。

〇自治会総会並びに避難訓練について

例年開催している自治会総会の時期がやってきました。後日、会長のほうから案内、アン

ケート等が配布されると思いますのでご協力ください。この頃参加者が減少しており、自治会の存在意義が薄れかけています。是非大勢の方の参加を期待します。また、その日に合わせて避難訓練も実施します。今年是非常用食品の期限が来るもの、缶詰など、を実際に食してみようと考えています。全員参加です。

〇旧寮生来館



一関一高OBを中心に4名の方が来館いたしました。礼状の一部をご紹介いたします。

ー私どもの寮生活は昭和50年4月から52年3月まででして、40年ぶりに「学生寮」に伺うことができました。

きました。また、建て替えられた現在の学生会館を拝見して往時との環境の違いを感じてまいりました。また、学生会館から私どもが利用していた椎名町駅までの帰路には、ところどころ当時の面影があり、小路で立ち止まりながらメンバーで盛り上がってしまいました。

以上ですが、最後に「寮生」の皆さんのご健

勝を祈念いたします。と結んでおられました。寮生活の良さを訴えかけているように思いますが、どうか皆さんも、寮生活の良いところを感じながら、刻苦勉励の心がけで頑張ってください。

〇冷蔵庫の使用について

大変残念なことが起きています。せっかく名前を書いて入れておいたものがいつの間になくなっていく、というようなことが。喝!!

編集後記

第4号をお届けいたします。今回は何とんでも山形さんの来館が大きな出来事でした。当援護会の業務執行理事、砂金良明様のお力添えによるもので、寮生一同、特に盛岡三高卒業生は大変喜んでおりました。今後もこのようなイベントを企画していきたいと思えます。寮生の皆さん、是非、積極的に参加してください。

次号では就活第2部、海外体験記等を。

平成二九年十月十一日発行

編集並びに発行元

公益財団法人岩手県学生援護会

岩手県学生会館

同 学生自治会

住所 東京都豊島区要町二丁目5番5号

tel 03 (3972) 4783

fax 03 (6676) 4471